

獨逸鐵鋼業

緒言

先般の世界大戦及び今次のルール占領は共に獨逸鐵鋼業に幾多根本的變革を齎したるも本報は主として前者に依る永續的結果に付叙述せり。戦前獨逸は鐵鋼につき著名なる輸出國なりしも、今や産出の減少輸送困難のため獨逸鐵鋼業は致命的影響を蒙り却つて輸入超過の状態にあり。

即ち佛軍占領の結果從來獨逸工業が依て以て立ちたるルール炭及ルール鑛石の移出禁ぜられたるを以て、非占領地帯に於ける鐵鋼業も燃料及原料の供給杜絶し之を海外よりの輸入に仰がざるべからざるに至り三月早々獨逸石炭委員會は半年度の貯炭を有すと發表せるも、漢堡に於ける英炭の輸入は一日五萬噸、三月中のみにも二百萬噸に上り昨年度輸入毎月平均七十五萬噸に比すれば著しき増加なり、尙鑛石其他の原料に就ても同様輸入に俟たざるべからずして生産費は甚敷騰貴し獨逸工業製品は世界市場に立ちて他國品と競争する事困難なるに至れり。

二三月の頃馬克幾分の引返へしに依り鐵鋼業は他の工業と共に却つて不利益なる影響を受けたり、ハーリング氏は本報に於て馬克價值久敷高保合ふに於ては遂に危機を醸すに至らんと警告するも事實馬克は四月中頃來再び低下し反撥の氣勢なし如斯馬克動搖は今後も幾度となく繰り返へざるゝ事なるべし。

總べてを綜合し獨逸鐵鋼業の現状を説く事頗る困難なり、唯生産高は減少し生産費は騰貴し海外の販路は漸次狹隘なら

んとするは明なり此の點より現状先行の概念を構成する上に於て後述の如き根本的状態の知識は不尠參考となるべし。

本論

(一九二三年五月、柏林駐在米國商務官 シー、イー、ハーリング)

第一外國原料の輸入

平和條約に依る割地の結果從來多少の高度鑛、鐵合金等の外として輸入を必要とせざりし獨逸鐵鋼業も今や鐵鋼、骸炭、銑鐵等に關しては全然自給を失ひ單に加工業たるに過ぎざるに至れり。

アルサス、ローレン州及上部シレジアの喪失、ザール地方の分離、ルクセンブルグの關稅同盟脱退により獨逸の喪失せる所頗る大なるものあり即ち戦前の鐵鑛産出七五%熔鑛爐全能力三〇%以上トーマス式銑鐵産出四五%壓延能力二四%にして又次の如き輸出入數字を示せり。

銑鐵	一九一三年度	一九二二年度
鐵	一三六、五一九噸 (輸入)	
骸炭	六、八三八、四八五噸 (輸出)	六一九、〇〇〇 (輸出)
石炭	二四、〇〇〇、〇〇〇 (輸出)	七、五〇〇、〇〇〇 (輸入)

石炭に付ては賠償の爲の引渡は本表に合算せられず、若し之を含ましむれば約一千萬噸の輸出超過ならんと云ふも國內供給の逼迫各方面とも甚だしかりしを見れば直ちに信ずる事能はず。

第二、生産

次の表は一九一三年及一九二〇年に於ける獨逸鐵鋼、石炭、骸炭、銑鐵、壓延鋼の産出を示す、一九一三年の欄は戦前の産額、括弧内は上部シレジアを含む現在の數字なり、一九一九

年、一九二〇年の欄は同様シレジヤ割譲前なるも一九二〇年括弧内は割譲後なり、現在の産額を測定するには勿論不自然に減少せる一九一九年よりも一九一三年の括弧内を基準とするが妥當ならん。(單位千噸)

第一表

品名	一九一三年	一九一九年	一九二〇年
石炭	1,190,109 (1,730,096)	1,077,691	1,311,347
鐵鋼	28,608 (7,439)	6,154	6,362 (6,299)
骸炭	234,630 (32,653)	26,861	26,103 (24,878)
銑鐵	16,764 (1,529)	5,654	6,388 (6,004)
トーマス式銑鐵	9,868 (5,513)	2,594	3,006
マルチン式銑鐵及鏡鐵	2,551 (2,551)	1,521	1,863
壓延材	13,119 (10,394)	5,230	
棒其他八〇ミリ以下の型	4,138 (3,088)	1,941	
針金	1,091 (900)	451	
厚板	1,311 (1,185)	549	
薄板	874 (764)	504	
鋼管	709 (622)	226	
軌條其他	372 (369)	275	

(一)一九一三年の上部シレジヤ産出は三二、五〇六、三〇〇噸、一九二二年の推測二一、〇〇〇、〇〇〇噸賠償引渡は一九二二年度九、四〇〇、〇〇〇萬と發表さる

拔萃 獨逸鐵鋼業

(二)賠償引渡は一九二二年度六、五〇〇、〇〇〇噸、統計局の見積にして「經濟統計三卷二號誌上發表による」

昨年度は一九二〇年度に比し鐵鋼共に増産著しく、信憑すべき見積によれば昨年末銑鐵産額は戦前ルール地方の鑄造の八〇%に當ると云ふ、若し割地分離の結果出銑能力の四四%を喪失せるものとすれば現在は戦前の四五%に當る、鋼鐵は種々に見積らるるも六五乃至七〇%と見るが無難ならん、又戦後屑物の利用は尙後述する所あるべきも鐵鋼方面に於ては重要な事項とす、戦前の七五%の生産能力及一日八時間労働となれる事等を考慮すれば材料の不足其他の事もある故戦前平産の三分の二位と見るが妥當ならん、但ザール地方の諸工場の移轉、時々の居残り及労働力の増加とが如何なる程度まで八時間制其他による生産力低減を償ふか疑はしきを以て見積り頗る困難なり。

冶金工業に對する國內材料の不足は從來の如く粗製半製品の輸出を捨てて加工精製の方面に力を注がしむるは明なり、鑛石、原料、屑物等の多量なる輸入は必然的に生産費を増加し且つ現在の如き歐洲混亂の状態にあつては勢ひ經濟上の制限により甚だしく生産を害ひ又外國原料の使用は他の不利なる要素と相俟つて戦前獨逸工業の享有せる生産費低廉なりと云ふ武器を薄弱ならしめたり。

第三 産出と輸出との關係

獨逸鐵鋼業の生産と輸出との關係は戦後根本的に變化し、其の進路は他の工業と共に過去一二年の急激なる通貨下落により甚大なる影響を受けたり一九二一年の貿易表に依り明なる如く生産の輸出に對する戦前の割合は全然變化し而して此

の狀態は稍持直したりとは雖一九二二年にも猶繼續せり若し貿易を順調にし通貨價值を回復し豫算の均衡を得んとすれば其生産に對する輸出の割合を戰前以上に増加するを要し輸出強制は一層大ならざるべからず、次の表は一九一三年及一九二二年に於ける主要鋼鐵製品の輸出を示す、一般平均として一九二二年六五%乃至七〇%の生産ありと見て輸出割合比較的僅少なるは國內市場の緊張十分ならざればなり。

第二表

品名	一九一三年 (單位 佛噸)		一九二二年 (單位 佛噸)	
	噸	價	噸	價
鋼片	七〇〇、七七九	一〇二、一一五	一〇二、一一五	三三、七七九
形鋼(八ミリ以下)	四四六、八六〇	一六九、九一七	一六九、九一七	五七、六六六
厚板(五ミリ)	四六一、二五一	二八六、一一〇	二八六、一一〇	五〇〇、八三五
針金	一八七、二〇一			
車輪	五〇〇、八三五			

第三表

月	一弗に付馬克	赤鐵		鋼		塊		鋼棒		ワイヤロッド	
		紙幣馬克	金貨馬克	紙幣馬克	金貨馬克	紙幣馬克	金貨馬克	紙幣馬克	金貨馬克	紙幣馬克	金貨馬克
一九四年七月	四、三〇	—	七九、五	—	—	—	—	—	—	—	—
一九三年一月	一九、五	三、八九一	六、	三、八三〇	八、五	六、五	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一、一〇	
二月	二〇、八	三、九七九	八、一	四、二二〇	八、五	六、五	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一、一〇	
三月	二八、一六	四、七四	九、〇	五、三三〇	七、九	一〇、五	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	一、一〇	
四月	二九、六三	六、三三	九、〇	七、六〇	一〇、七	一〇、七	八、八二〇	八、八二〇	八、八二〇	一、一〇	
五月	二九、〇〇	六、四三	九、三	七、六〇	一〇、七	一〇、七	九、八二〇	九、八二〇	九、八二〇	一、一〇	
六月	三二、〇〇	六、七四	八、九	七、九六〇	一〇、六	一〇、六	一〇、六六〇	一〇、六六〇	一〇、六六〇	一、一〇	
七月	四九、三三	八、二六	七、〇	八、五三〇	七、三	七、三	一、一四七〇	一、一四七〇	一、一四七〇	一、一〇	
八月	一、三、八四	一三、〇〇〇	五、〇	一六、〇〇〇	六、〇	六、〇	一、一五〇〇	一、一五〇〇	一、一五〇〇	一、一〇	
九月	一、四、七、六六	一三、〇〇〇	八、六	一三、〇〇〇	八、九	八、九	一、一五〇〇	一、一五〇〇	一、一五〇〇	一、一〇	
十月	三、一七、〇〇	一三、〇〇〇	五、一	一三、〇〇〇	七、三	七、三	一、一五〇〇	一、一五〇〇	一、一五〇〇	一、一〇	

第四 標準相場

亞鉛引針金 一五六、二二一
 鐵力板 七六〇
 五九、九三三
 五、八一九

戰争以來獨逸工業は外國競争者より遙に安値を出し得るに至りしも昨年中馬克價值の一时的昂騰により他國特に佛國より高値を呼べる事屢なりさされば獨逸が高價なす外國炭を購入するに反し佛白工業家は安價なる賠償炭に依り、補償を受くとの怨言なきにあらざりき、目下に於ては半製品の相場世界一般より高しとの下に政府に對し運賃引下の要求あり。

次の表は昨年中主要製鋼所の標準相場なり(金建は其日々の平均弗爲替による)但し此は單に標準相場として心得べく現物の不足直物の必要に依り實際取引の相場は屢此と異れり。

十一月	4700000	1110000	67	110000	75	121000	107	122000	119
十二月	4750000	1250000	66	120000	105	123000	103	127000	115

第五 組合の縦式聯合

獨逸工業は原料其他に於て非常に不利益なる點を經費及び能率に依り償ふために絶えず合同の氣運にあり、戰前獨逸組織の特徴は横の聯合なりき、即ち原料生産者及び加工業者が生産及市價を左右し又は産出額を割當つる爲結合せるものも所謂縦式聯合は粗製品、半製品、精整品各自の支配を目的とする聯合の發達にして加工業者として他の者の利益獨占を排斥し販路競争上有利なる地位に立たんとするものなり。

横式聯合は尙其形を更へて繼續す、其主要なる作用は從前の如き生産の分配制限なくして市價を左右するにあり、勿論現今の如き状態にありては市價の支配は頗る面倒なり、すべての商内は通貨の低落及び變動により幾分投機的なるを免れず、從て先物の確定相場は久敷唱へられたる事なし。

鐵工業同盟及び鋼同盟は鐵及鋼製品に對し所謂標準相場を定む、其目的は加工業者を保護するにあり、然しながら國內需要者の側に於ては一種の搾取なりとの怨言あり。

第六 輸出相場

輸出相場は外國貿易委員會に於て決定す、該委員會は政府及工業家の代表によりて組織せらる、其の趣旨は單に外國を利するに止まり獨逸工業家に爲替上甚大の影響を與ふる所謂「爲替投資」を避けん爲め輸出値段を輸入國に於ける他國品の其と接近せしめんとするに在り輸出相場公定の實效は國內相場と外國相場の差あるとき見るべきも目下獨逸工業に於ては通貨下落及び不健全なる經濟状態に依る事甚だしきを以て

漸次減少の傾あり。

一九二一年十二月新に嚴格なる輸出相場を施行せる時十月乃至十二月の急激なる馬克下落は當時の生産費を償うて餘りありき、其後馬克の暴落は屢々内外相場の値開きを大ならしめ、昨今殊に昨年末の如く馬克緊張の時期と雖輸出相場は比較的重要ならず過去六ヶ月間輸出は爲替高率の際に送し内地賣も金貨馬克を以て約定し支拂は紙幣馬克に依る有様なり、委員會は又輸出に對しても嚴重なる統制を行ふ、即ち輸入特許はすべて此の工業家の代表なる委員會を通じてのみ行はる、依て競争品の輸入は内地製造家が需要を充分満足せしむる能はざる事明なる場合にのみ許さる、此の制度は經濟上不徳義にして獨逸經濟状態が目下の如く變則なるにあらずんば何等の制限なしに獨逸品を許容する外國の忍ぶ所にあらずるも獨逸としては失業を防止し社會混亂の危険を除く爲内地工業に内地市場の獨占を認むる事亦止むを得ざる所なり。

信憑すべき報道に依れば過去一ヶ年間に米國鋼製品は相當數量輸入せられたるらしく國內の供給は到底需要を充たすに足らざるを以て、幾分高くとも外國品の購入餘儀なきなり。

次の表は一九一三年及一九二二年の主要製品國別輸入比較なり。

(單位佛噸)

第四表

製 品	一九一三年	一九二二年
	一四、三六 英 國	二五、三一 アルサスローレン

管	三六	—	二七、八七	ザール地方
暖爐	七六	—	一、二六	同
角鋼片原板、鋼塊	二、〇七	瑞	三三、二〇	ルクセンブルグ
形鋼(八ミリ以下)	七三	—	一三、〇〇	アルサスローレン
棒	二四、九七	瑞	六三、四九	ルクセンブルグ
厚板(五ミリ以上)	一、九二	塊地利、洪牙利	四七、七	ザール地方
針	五、九七	瑞	四、六七	同
軌條類	四三	—	一、九〇、九五	同

第七 通貨下落の影響

獨逸鐵礦商内は實際他の工業と同様依然たる通貨下落によりて非常に刺撃せられたり、これ國內需要を人為的に刺撃するよりも二倍の効果あり、即ち可成早く馬克價值を他に更へんとし輸出を盛にすればなり。

戦争に依る日用品の空乏は過去二年間鐵鋼製品の異常なる國內需要を生じたり、然し此とは別に下落し行く馬克の利益を不變の價值ある物品に更へ置き、現在及將來の不利益なる課税を招くべき帳簿上の利益を避けんとする獨逸工業者の意圖も亦與れり。

一般公衆も其の財産の範圍に於て馬克を他に更へんとするは同様なり、斯くして金物、刃物、農具、其他機械類の異常なる需要をなせり、されば馬克價值が昂騰し、此の先下落の恐なしと云ふに至らば金物工業界は險悪なる恐慌を見るやも知れず現に一九二〇年初頭馬克好勢を續け國內市價暴落の際此の例あり。國內需要緩慢となれば勢ひ輸出増加す、然し輸出の能否は馬克の昂騰に依りて影響を受くるを免れず、それ故に過剰生産及び失業に關する獨逸全工業の不安は馬克好勢を續くる相當期間止むを得ざるものと見らる。

第八 鐵鋼組合の賣値

鐵鋼組合の販賣値段につき昨年暮新聞紙上に激烈なる論争ありき、次に引用せるは消費者側の立場を代表せるものなり。鐵鋼値段の高き主なる理由は一九一四年に比し輸入原料の値段高く、労働者の生産力は減少し加ふるに八時間制度は一層生産力を低下せりと云ふにあり、然しながら事實を隠蔽せる所なきか、鐵鋼業は充分の利益を受け此の不利益を償つて餘りあるにあらざるか、労働の生産力は減少せりと云ふも實際貸銀は貨幣の國內價值より見れば戦前の二五%對外價值を見れば一層低廉なり、現今に於ては資本に對する利子掛り抵當何れも金貨價值は頗る低く運賃郵税其他經營者も生産費同様金貨を以て表示せられず、戦争以來の工場改造科學的なる壓延工場合理的熔鑪大いなる骸炭窯、鑛山主と工場主との資本的結合、此等有利なる條件は何れも消費者に周知せられざる利益なり、又生産品の品質は戦前程良好ならず、製品はロールを通過するのみにして工場主は高級品を作らんとせず加之鐵鋼商品の販賣組合は一層廣くなし莫大なる利益は工業家の懷中に吸収せらる。他方に於て製造家は次の如く主張す。

- 一、外國人より輸入する原料の値段既に高し
 - 二、大量生産は八時間労働となり一時間一人當りの生産力は減少せり
 - 三、經費、運賃、公課増加せり
- 經費膨脹と關聯して價格の計算原價の換算相場及引渡期の變更通貨不安定等より生ずる徒勞なる事務は鐵鋼其他獨逸一般工業を非常に阻害せり。

消費者は戦前の金貨馬克相場を越ゆべからずと主張す、之に反し製造家は一九一四年來の事情甚だ變化し金貨拂輸入原料は高く八時間労働制度に依り生産力減じ、石炭、骸炭の引渡は不確實を免れず、馬克相場は翌日を保せず製品の金貨拂値段戦前より高きは無理なしと辯ず、獨逸に於ける生産費の問題は頗る曖昧にして議論の支柱とする事最も避くべき事なり。兎に角鋼製品の國民生活上に於ける必要にも拘らず其の極端なる値段は政府が工業家の大部分に依りて支持せらるゝが故に其の干渉を免れ居るものと云ふも致方なからん。

過去十八ヶ月の馬克下落に伴ひ獨逸鋼鐵相場も他商品の如く不斷不絶に變化し僅か一ヶ月の生産費を明確にする事不可能なるは其の價格を辯護する主要なる理由なり、又支拂は普通引渡の翌月中頃聯合（十五日前の引渡ならば翌月一日）になさるゝを以て下落の傾向にある馬克の價格に關しては豫め宜敷準備する所なかるべからずと主張するものなり。

第九 所謂獨逸鐵鋼業の難關

昨年中獨逸鐵鋼業者に依りて唱へられたる苦衷次の如し。
一、石炭供給の不足 冶金用數量より見れば、しかく眞劍に訴ふる事首肯出來ず然しルール以外の石炭は骸炭用として劣等なる上其のルールの優良炭は強制的に賠償勘定として引渡さる、斯くて骸炭の不足は石炭の不足以上に緊急事なり、されど此は佛國が其新に擴張し始めたる鐵鋼業の進展に熱中せる間は救済覺束なし。

二、國內鑛石の供給 國內鑛石の缺乏は統計上頗る明瞭なり、目下盛に輸入せられつゝある瑞典西班牙の鑛石は國內の三三乃至四二%より遙に優良品なり、國內產出額は

戰前二千八百萬噸に對し最高七百萬噸と見らる而してロレン及ルクセンブルグは戰前其の產額二千一百萬噸の内七五%を其地にて消費し残りを獨逸他地方に送り居る關係上現状の獨逸鐵鋼は少くとも年々六百萬噸の輸入を必要とす。

三、屑鐵の供給 鑛石の不足と關聯し最緊要なる問題は屑鐵の供給なり、戰爭以來獨逸の鑄物は主として屑鐵を用ひ其の需要は國內鑛石の不足と相俟つて頗る増加しシーマンスマルチン式の擴張に非常なる刺撃を與へたり。

昨年中獨逸國內の屑鐵涸渴の嘆聲屢々なる上外國產のものは封鎖のため購入困難なりき、されど獨逸鐵鋼業は結局輸入屑鐵並に戰前に比しては僅かながら國內屑鐵に頼るの外なかるべし。

從前獨逸の鐵鋼產額は三十年を一期としたり、然し目下の状態にては一層長さやと思はる、何者茲當分復舊期の爲工場設備材料等の轉換に要する資本充分ならざればなり、ザールより移したるルールの鑄造所はシーマンスマルチン式に依るのみならず獨逸一般の大勢が此式に依り、鑛石よりも寧ろ屑鐵を用ゆるに至れり、依て屑鐵再製の骸炭は鑛石に比し少量を以て足る上國內鑛石は殘餘少く又品位低劣なれば屑鐵値段相當高張るとも此の傾向は恐らく止まざらん、屑鐵値段は最近棒鐵の平均五十五%見當を配合せり、然し屑鐵の實質的涸渴と設備一切を屑鐵本位に改造する事とは鐵鋼業者の最も困難とする所なり、近來迄屑鐵は佛白より多量輸入せられたりしもルールの現状は此の供給を遮斷し獨逸鐵鋼業の難點を明にせり。

次表は戦争以來の屑鐵及び製品の値段の比較を示す、フランクフルト紙、本年三月十一日の所載にしてウエストフアリ

品名	一九一九年	一九二二年	一九二二年	一九二二年
鋼 及 屑	八月一日	五月十日	十一月九日	十二月二十日
鋼 及 屑	100 マーク	400 マーク	1100 マーク	1200 マーク
製 品	100	600	3100	1100
鋼 及 屑	一九二三年	一九二二年	一九二三年	一九二三年
鋼 及 屑	二月二日	二月七日	二月十二日	二月廿八日
鋼 及 屑	330,000 マーク	600,000 マーク	550,000 マーク	375,000 マーク
製 品	330,000	400,000	450,000	550,000
鋼 及 屑	一九二三年	一九二三年	一九二三年	一九二三年
鋼 及 屑	三月十日	三月十日	三月十日	三月十日
鋼 及 屑	140,000	140,000	140,000	140,000
製 品	140,000	140,000	140,000	140,000

四、運賃率 過重なる運賃率も亦鐵鋼業者の苦しむ所なり、現政府の政策は明に下層乗客の賃金を不當に引下げ其の收入不足は之を貨物運賃の引上に依り補填せんとするなり、昨年中一再ならず重要商品の運賃は金貨拂にても戦前の率を超過せり、即ち目下エツセン漢堡間の運賃は一噸一九一四年五馬克四〇片より六萬七十馬克となれり、一般に運賃は常に戦前の(金貨拂)率に近づかんとし然らざれば之を超過す、而して政府が豫算不足の増加を避けんとすれば兎に角此の率を維持する外なし。

六、外國に於ける關稅の壓迫 最近數ヶ月の間獨逸鐵鋼業は重要なる外國市場(英、米、西、伊、英領殖民地)に於て附加稅に壓迫を受く、これ通貨下落により貿易關係にて各自とも獨逸品の輸入を防遏するため採れる所なり而して此の高率なる輸入稅は若し獨逸製産費が戦前の金貨價値に接近し又は超過するに至らば其の販路の保持並に擴張上甚敷障害とならん。

五、勞働賃銀 過去一ケ年の企業者勞働者間の賃銀問題は比較的圓滑に運べり。鐵鋼業に於ける金貨拂賃銀は戦前に比し非常に廉なるは明なるも他方馬克の國內購買價値は對外價値に比し幾分良好なるを以て果して幾何なる程度まで戦前に比し低下され居るかは明にし難し、企業家は支拂賃銀の金貨價値少しと雖其差額は變動多き通貨に基く相場不安定、原料受渡の不確定、使用者解雇の法律上の制限八時間勞

獨逸鐵鋼業の目先きは勿論佛國のルール占領に依り如何に

第一〇 ルール占領の影響

成行くべきか殆んど見當つかざる所なり占領の結果ルール地方と非占領地帯との間に關稅柵を設け、石炭、骸炭、鐵鋼其他の移出に制限を加へ經濟上全然分離せられたり、獨逸人は移出特許を請求せず、移出税を支拂はんとせざるを以て製造家と占領軍官憲との間の交渉は斷絶せり。

他國人が占領地帯より輸出せんとする場合は自身又は代理者を通じ所要の特許と二倍の輸出税とを支拂ふを要す、即ち佛官憲の要求する所は從價一割にして從前獨逸政府の定めたる所と變りなし。

現在佛官憲の採る關稅管理及運輸管理は占領地帯よりの輸出を著しく減少し獨逸内部への輸出は全然杜絶せり、即ちルール鐵鋼は占領地帯内にて引渡されざる限り在荷として堆積し然かも現在の如き運輸機關の不秩序は占領地帯内に於ける引渡を頗る困難ならしむ、且つ從前占領地帯の製品に付ても市場は非占領地にありしを以て續々産出する製品をしかく長期に亘りて包藏する能はざるべく何等かの方法に依り金融を得るに非れば結局製造休止の外なし、現在の經濟的斷絶は恐らく一時的のものなり、然し其の繼續する限り獨逸鐵鋼生産は本質的に減少し生産費は異常に昂騒し輸出引渡の澁滯は佛蘭西の收入を減ずるに至らん。

若しルール占領が此のまま際限なく繼續し獨佛の間に賠償に關して新協議開かれずとすればルール鐵鋼業は獨逸の財政的管理又は政治的支配の有無に拘らず、早晚落ちつく所に落ちつくべしと思はる、占領地帯の國民と雖飢ゑざらんとせば結局作業の外なく、且つ現在獨逸銑鐵の七六%鋼産の八〇%ルールより出し居るを以て其の産額の繼續及び安全なる移入

は非占領地帯に於ける獨逸加工業の爲めにも絶對的必要なればなり。

佛蘭西の要求はすべての製品に從價十割の輸出税を課し、並に外國販賣價格中より五割を賠償として徴收すべしと云ふにあるを以て縱ひ佛軍撤退の後と雖、内外に對する、ルール製品の價格は増加せざるを得ず、此の偏重なる負擔は、運輸の澁滯、生産減少、利益の低下を伴ひ、軍隊に係る、工場労働者の壓迫は一般的能率の低下並に生産費の騰貴を招き内外市場に於ける獨逸工業の競争能力は明に減殺せられ漸次英米に依り蠶食せられとす。

第十一 結 論

ルール占領に依る目下の危機と之に伴ふ獨逸官民の消極的抵抗を離れても獨逸製鐵鋼業の外國市場に於ける戦前の競争能力を減殺すべき幾多の非觀的事情あり、簡單に摘要すれば

- 一、生産費の騰貴及び自給經濟より加工業に轉換する爲に生ずる政治經濟的困難
- 二、獨逸労働者の政治力の増大と階級意識、一般的不景氣に伴ふ廣汎なる失業にも拘らず、労働時間の短縮並に革命により獲得せる社會的特權を放棄せんとせず、過去四年間政治上に勢力を振へる事は労働者の心理に深甚なる影響を與へたり
- 三、金貨準備喪失に依る極端なる困窮は流通資本の減少從つて信用取引の縮退を招けり、戦前獨逸外國貿易發展の強味たりし長期信用は、最早之を求むるを得ず、唯特別の場合に於て米國其他の外國輸入業者に與ふる事あるも、これ國外に有利なる爲替を有せんが爲なり

四、鐵道運賃の割戻又は輸出獎勵金の如き有效なる制度は廢止され目下の如き破産状態にありては到底復活の望みなし、輸出に對する國內並海岸の特別運賃は戰前獨逸工業に於ける輸出發展の第一要素なりき

五、將來國內の鐵屑の缺乏は之を外國品に依り補はざるべからざるも、其の値段は瑞典、西班牙等の鑛石に比し禁壓其他の方法に依り自由に左右せらるる恐あり

六、ルール占領に依り佛蘭西に對する賠償義務は終れりと主張するも、早晚占領軍の撤退と共にベルサイユ條約に於ける賠償義務の規定に復活し其の支拂は結局大部分工業家の負擔なり、既に休戰來獨逸工業家の負擔莫大なるのみにして、通貨下落に依り殆んど支拂不能に近し、利得税と云ひ販賣高税と云ひ金貨拂とすれば僅少に過ぎざるも通貨下落の結果は其の負擔重く賠償問題にして解決せられずんば單に製鋼業のみならず獨逸全工業の苦痛到底堪ふべからざるが如し

七、獨逸冶金工業の石炭問題も明に重大問題なれど、骸炭の缺乏は一層緊急事なり、恐らく佛蘭西は其の骸炭を自ら使用し國內の冶金工業を發達せしめ獨逸に對する供給は減殺する意向ならん

八、變化極りなき生産費材料受渡の遲延は國內取引に於て價格を不確定ならしめ、國外取引には輸出積出を後れしむ、尤も此の如き不安は勢ひ安値を呼ばしむるが故に外國顧客を喪失する事少きを得ん

如上の不利益は勞働並に經營の能率増進に依つて補はるべきなり、然るに經營が戰前以上に巧みとも思はれず、又八時

間勞働制が其の割に目算を増加せりとも思はれず、急激なる通貨下落は又甚敷聯合困難を招けるも其は一時的債務に止まり唯一の解決方法は戰前の如き有效なる能率を發揮するにあり、現在の儘にては獨逸工業戰前の競争力を回復する事到底不可能と信ず。

波蘭の鐵鋼業

元露領波蘭では製鐵業が自國使用量以上に多く生産しても餘り利益ないので埋藏鐵鑛もよく開發されて居らなかつた、鑛山を持つて居る主なる者は次の如くである。

The Hantke Ironworks.

The Bodzechow Co.

The Ozenstochan Co.

The Ostrovice Blast furnace & Ironworks Co.

The Sonvice tube Rolling mills.

The Starachowice Mining Co.

然るに上部シレシアの東の部分併合され、其の地方にある鐵鋼工場は従前主として獨逸の鐵鑛を使つて來たけれども、最近獨逸は自國の使用に不足して位なので到底間に合はず、如何しても波蘭國內から適當な供給を受けねばならぬことになつた。そこで此の需要に應ずるため先達て Katowice に元露領波蘭の鐵鑛開發を目的として一會社が組織された、尤も波蘭政府は最良の鑛石は國家の手に收め、相當高税を以て鑛山會社に特許する意圖であると云はれて居るが、政